



## 2018年4月21日(土) 奥多摩 三頭山

2回連続悪天のため、山行が中止になっていたため、一か月振りの山行となった。

今回は昨年アンケートで要望（堀さん）があった奥多摩「三頭山（1531m）」を企画した。

参加者は岡部さん、小山さん、布目さん、中島さん、堀さん、吉松さん、熊本の7名。

過去何回か三頭山に登っているが、今回のコースは数馬側（都民の森）から登り、奥多摩湖へ下る縦走コース。

（下図参照）

3月の大雪時に中国人ら13名が立ち往生し、ヘリで救出されたのは、まだ記憶に新しく、その場所の確認も含めた山行となった。





8:20 武藏五日市駅で、三頭山は人気の山のため、バスが混雑するのを予想して、早めにバス停に並んだ。

9:00 発の数馬行バスは3台増発され、計4台となり、座れない人も数名いたが定刻に発車した。



数馬まで約50分、途中フジの花や山桜が、  
山肌を染めて綺麗だった。



8:40になると、数馬行のバスは長蛇の列となり、我々は最前列に並んで問題なく座れる。



数馬でバスを乗り継ぎ、都民の森まで10分強。  
ここまで来る登山客は1/4に減っていた。



都民の森バス停でトイレを済まし、ストレッチで体を解し、登山に備える。



都民の森入口で記念写真を撮り登山スタートする。天気は快晴で風もなく、暑い。



10:19 都民の森に入る

都民の森の森林館や木工工芸センターに沿って登り、途中に多くの高山植物に出会う。



歩き始めると、満開のヤマザクラがお出迎えだ。



ヤマブキ



フッキソウ



ヤマノエンコグサ



キケマン



ミヤマキケマン



ナガバナスミレサイシン



タチツボスミレ



イカリソウ



ニリンソウ



ミツバツツジの濃いピンクと  
ヤマザクラの薄いピンクの混在が  
綺麗に調和していた。



アマドコロ



タチツボスミレ



シロバナベニイチゴ



コガネネコニメソウ



ハシリドコロ



歩き始めて 10 分で分岐に出て、鞍口峠（さいくちとうげ）への登山道に入る。（10:29）



登山道に入り、傾斜がきつくなると、「鞍口峠 2分」の標識があった。



鞍口（さいくち）峠に 10:40 到着し最初の休憩。布目さんがデコポンを振舞ってくれた。旨かった。



鞍口峠から三頭山山頂まで 1.5km で「ブナの路」の標識の通り、三頭山はブナ林であった。



鞍口峠から急登が始まり、山頂まで 70 分のコースで、大汗をかかれる。



11:15 2回目の休憩を入れ、汗を拭う。



山頂まで急登りは続き・・更に 30 分ほど登ると



10:50 左手の木の間から富士山がハッキリと見え、高度を上げると更に大きく全容を現した。



11:57 三頭山 東峰の展望台まで 200m に来た。東峰に登ると 20m 離れたところに中央峰の標識。



中央峰山頂 (1531m) で記念写真。布目さんは暑さにペースダウンで、まだ登り途中で写真は欠席。



ベンチを確保しここで昼食を始めると、布目さんが追いつき全員で始める。

女性陣の皆さんのが持ち寄ってくれた惣菜でお花見飲み会の様相となり、アルコールも進み満腹。

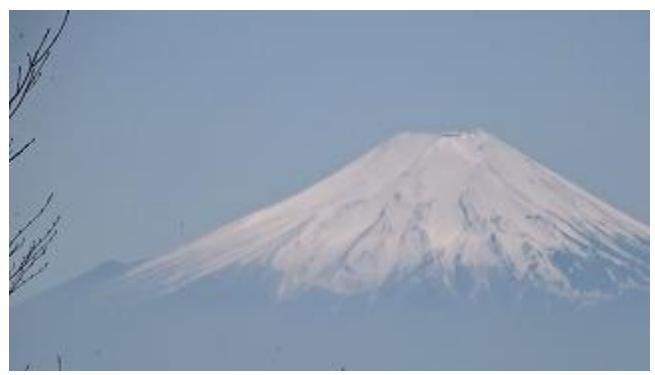
毎度のことではあるが、美味しいご馳走に感謝！感謝！



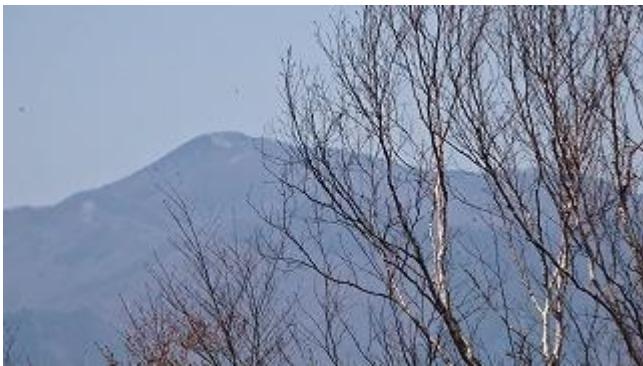
東峰（中央峰）は展望もなく、次の西峰に進む。12:50



12:55 東峰から約 5 分で西峰に到着。山頂は広く富士山への展望が開けていた。



富士山の容姿を目に焼け付け、反対方向には・・



雲取山



鷹巣山



富士山や奥多摩山塊の展望を楽しんで、奥多摩湖への下山に入り、鶴峠の方向に進む。(13:00)

10分程下ったが、奥多摩湖からどんどん離れて行くようで、地図で確認したところ、

道を間違えたことを認識し、西峰山頂へ戻り、更に東峰との間の鞍部（御堂峠）まで戻った。



御堂峠は5差路になっており、奥多摩湖への又カザス尾根への標識があった。

又カザス尾根は中国人GP13人が遭難しかかった尾根だ。浮橋まで5, 5kmを下ることになる。



又カザス尾根は急下りの連続であった。



この尾根にはミツバツツジが咲き、紫の花が目に染みるようだ。



更に急下りが続き、足が張ってきてガクガクになり始める。



14:15 ヤットヌカガス（糠指）山（1175m）に到着した。予定より25分遅れている。

西峰から下山路（鶴峠）を間違えたのが原因だ。まだこの先、イヨ山のピークを越えて奥多摩湖まで二時間近くあり、この急下りの連續はシンドイ。



又カガス山頂で・・  
遅れた布目さん、サポートする堀さんは写っていない。残念！



更に急下りが続き、イヨ山に向かう。



15:13 イヨ山に到着。予定より 35 分遅れとなり、バスは予定した便には間に合いそうにない。イヨ山 (979m) から奥多摩湖まで標高差 400m を下り更に奥多摩湖の浮橋を渡ってバス停に着く。計画では後 50 分掛かるが、既に足はガタガタに疲れ、もっと遅れるかもしれないと、覚悟を決める。



16:00 眼下に奥多摩湖の浮橋が見えた。

吉松さんが 10m 先にニホンカモシカを発見



16:05 ヘロヘロになりながらヤット車道に出て、急下りの登山道から解放されホットする。足を引きずりながら奥多摩湖にかかる浮橋に向かう。約 10 分で浮橋に着く。



浮橋渡りは初体験。

(16:25)

昔はドラム缶橋であったが。現在はプラスチックに代わっていた。



浮橋を渡ったところが鶴の湯温泉（16 時に終了）で。その下に大河内神社バス停があり、次のバスが 18 時過ぎまでない。



大河内神社バス停からトンネルを潜り、橋を渡ったところに蜂谷方向から来る蜂谷橋バス停があった。17:05 奥多摩駅行があり 15 分待ちで何とか助かった。奥多摩駅着が 17:31 で日帰り温泉は難しいが、今日は大汗をかいており、このまま電車に乗るのは厳しく、吉松さんが玉翠荘に電話で交渉した結果、OK を貰い一安心。



奥多摩駅から徒歩 5 分、玉翠荘さんで日帰り入浴させてもらう（¥750）。



玉翠荘のご主人が入口のテーブルでビールを飲んで良いと了解頂き、瓶ビール7本に、ツマミをサービスして頂き、湯上りに乾杯して、目出度く本日の山行を締めることができた。  
奥多摩駅 1851 の青梅行の電車で、無事帰路に着きました。

山頂 1531m から奥多摩湖 550m と標高差約 1000m の下りだったが、ピーク越えが何か所かあり、恐らく累積標高差は 1200m を越えていたかもしれない。これが急下りの連続で、久し振りの山行で、足がパンパンに張り、悲鳴を上げていたが、全員無事に下山出来き良かった。本当にお疲れ様でした。